

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	体 育				
教 科	保健体育科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 特別選抜・進学
使用教科書					
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。
- ② 健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度の形成。
- ③ 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○集団行動 ○スポーツテスト	現在の自分の運動能力・体力を知る ・ワークシート ・レポート ・スキルテスト	10月		
5月	○球技(7月上旬まで) 【男子】バドミントン 【女子】ソフトテニス		11月		
6月			12月	○球技(3月上旬まで) 【男子】バスケットボール 【女子】ダンス	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト
7月			1月	【全クラス男女共通】 陸上競技(長距離走)	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト
8月			2月		
9月	○球技(12月中旬まで) 【男子】ソフトボール 【女子】バレーボール	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト	3月		

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [スキルテストやワークシートなどを用いて評価する]
 ② 思考・判断・表現 [ワークシートやレポートなどを用いて評価する]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [出欠席や授業態度、ワークシート、レポートなどを用いて評価する]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	体 育				
教 科	保健体育科	単位数	4単位	学年・コース	高校2年 アスリート
使用教科書					
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。
- ② 健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度の形成。
- ③ 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を行う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	○集団行動 ○スポーツテスト ○球技 (7月上旬まで) 【月】 バドミントン	現在の自分の運動能力・体力を知る ・ワークシート ・レポート ・スキルテスト	10月		
5月	【金】 バレーボール		11月		
6月			12月	○球技 (3月上旬まで) 【月】 サッカー 【金】 アルティメット	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト
7月			1月	【月・金】 陸上競技 (長距離走)	
8月			2月		
9月	○球技 (12月中旬まで) 【月】 ソフトボール 【金】 陸上競技	・ワークシート ・レポート ・スキルテスト	3月		

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [スキルテストやワークシートなどを用いて評価する]
 ② 思考・判断・表現 [ワークシートやレポートなどを用いて評価する]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [出欠席や授業態度、ワークシート、レポートなどを用いて評価する]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	保 健				
教 科	保健体育科	単位数	1単位	学年・コース	高校2年 全クラス
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	ICT機器、心肺蘇生法実技人型模型、AED実技サンプル				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 生涯にわたって健康に過ごしていくために必要な考え方や知識を身に付ける。
- ② 健康の保持・増進のため主体的要因と環境的要因を理解し、正しい行動選択ができるようにする。
- ③ 学んでいる事柄を社会と結びつけ、改善のためには何が必要かを考え、伝える力をつける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	18.健康に関する意思決定 行動選択	・小テスト ・レポート ・ワークシート	10月	7.中高年期と健康	・小テスト ・レポート ・ワークシート
5月	19.健康に関する環境づくり ★生涯を通じる健康 1.ライフステージと健康 2.思春期と健康		11月	8.働くことと健康 9.労働災害と健康 10.健康的な職業生活	
6月	3.性意識と性行動の選択 4.妊娠・出産と健康		12月		
7月			1月	★安全な社会生活 1.事故の現状と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全	2学期期末考査 ・小テスト ・レポート ・ワークシート ・応急手当及び 心肺蘇生法演習
8月		1学期期末考査	2月	4.応急手当の意義と その基本 5.日常的な応急手当	
9月	5.避妊法と人口妊娠中絶 6.結婚生活と健康	・小テスト ・レポート ・ワークシート	3月	6.心肺蘇生法	

3. 学習評価について（観点・評価場面設定・年度末評定）

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査、レポート、小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査、演習、レポート |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [レポート、ワークシート |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します